



社会福祉法人 恩賜財団 濟生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地
TEL. 073-424-5185
FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>



濟生会

わかやま

NEWS

第23号 発行日: 2012.10



～ 理念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

医療の標準化

医学の発達新しい治療法の開発やより良い治療を与えてくれるようになった反面、医療の高度化や肥大化により、患者さんに負担を強いることもあります。したがって私ども医療従事者は、患者さんに対してより負担の少ない診療技術と最少侵襲の手術を提供する義務があります。これらの解決の一助となるのが以前から言われている「医療の標準化」です。医療の標準化とは、病気に対しEBM (Evidence-based-Medicine) に基づいた処置や治療を一定の質を保ちながら行うことです。EBMとはEvidenceエビデンス (臨床結果) に基づく医療、すなわち根拠に基づいた医療のことです。臨床結果とは治療効果・副作用・予後 (病気の見通し) などのことを言います。もちろん今でも根拠に基づいた医療は行われているのですが、より一層「良心的に、明確に、分別を持って、最良の医学的知見を用いる」医療のあり方をさします。また標準化とは、関係する人々の間で利益または利便が公正に得られるように統一し、単純化を図ることを目的とすることです。私は医療の標準化という言葉を広く解釈し、まず濟生会和歌山病院自身ができる医療の標準化は何かと考えました。ご存知のように当院は、2011年9月日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver6.0の合格通知を受けましたがこのように第三者機関の評価を受けることも標準化の第一歩といえます。また当院は厚生労働省が推進している「DPC: 急性期入院期間別包括評価」の対象病院として指定されており、治療内容が公開されこれも標準化の一環といえます。

さて院内の医療の標準化に目を向けましょう。医療はチームプレーそのものです。医師、看護師、薬剤師、放射線技師、リハビリテーション科のスタッフ、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、検査技師、医療ソーシャルワーカー、栄養士、事務職員やその他スタッフがそれぞれプレーヤーです。チームプレーで一番大事なことは、それぞれが専門的な知識と技術を持ち、責任ある役割分担を共有すること、お互いの意思の伝達すなわちコミュニケーションを密にとることです。チームプレーが医療の標準化を押し進めてくれるでしょう。



院長 松崎 交作

消化器内科の紹介

消化器内科部長 川口 雅功

当科では消化器疾患全般、すなわち消化管、肝臓、胆道、膵臓疾患の診療を行っております。モットーとして、迅速で確実な診断・治療、地域の病院や診療所の先生方との綿密な連携を心がけております。当科は日本消化器内視鏡学会指導施設であり、さらに平成25年1月からは日本消化器病学会認定施設となる予定です。和歌山県立医大の研修医の先生方の教育も行っており、他施設からの研修も受け入れております。

内視鏡検査（胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査）については、苦痛のない検査を心がけており、希望により鎮静剤を用いた麻酔を行っております。がんの早期発見・早期治療に重点を置いており、初期のがんが発見された場合には、短期間の入院で可能な侵襲の少ない内視鏡治療（ESD：内視鏡的粘膜切開剥離術、EMR：内視鏡的粘膜切除術）を行います。今年から新しい内視鏡高周波治療装置（VIO 300D）が導入され、より安全な治療ができるようになりました。出血性潰瘍、食道静脈瘤破裂、胆石胆嚢炎・胆管炎については、緊急対応をしております。疾患に応じて、内視鏡的食道ステント挿入術、内視鏡的胃瘻造設術、胆管ステント挿入術、胆道ドレナージ術など様々な治療手技も行っております。

C型慢性肝炎に対して、最新のペグインターフェロン・リバビリン・テラプレビル併用治療、瀉血治療を行っております。B型慢性肝炎に対しては、核酸アナログ製剤（エンテカビル）、ペグインターフェロン治療を行っております。肝硬変患者では栄養治療を重視しており、患者様・御家族の方を対象に無料で肝臓病教室を2カ月に1回、定期的に行っております。看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、事務部門と協力して、きめ細やかなチーム医療を提供したいと思っております。

肝臓がん・転移性肝がんに対しては、造影超音波を併用した肝腫瘍ラジオ波焼灼療法（RFA）を施行しております。当院の大きな特徴として、外科や放射線科と連携し、肝動脈塞栓化学療法（TACE）併用ラジオ波焼灼療法、腹腔鏡下/開腹下ラジオ波焼灼療法を行っております。肝機能、肝がんの進行度に応じて、分子標的薬（ソラフェニブ）を用いることがあります。

これからも少しでも皆様方のお役に立てればと、日々努力を重ねて行きたいと思っております。また、新しい治療機器を導入し、環境整備にも努めて行きたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



登録医総会が終わって

地域医療連携室長 重里 政信

今年は例年より1か月早い7月に済生会和歌山病院登録委総会を病院南隣のダイワロイネットホテルで開催しました。今年もたくさんの登録医の先生に参加いただきありがとうございました。

いろいろな科の先生方がみえられるので、特別講演のテーマをどうするか？は毎年悩むところです。今回は、原発事故とそれに関連した放射能汚染についての「知っているようでほとんど知らない。」本当の話を、国立南和歌山病院放射線科の辻先生に講演していただきました。テレビのコメンター医とは違う、信頼できる文献、データを使っ



ての説明は非常に説得力があったと思います。

来年は従来と同じ8月に登録医総会を行う予定にしています。よろしくお願いたします。



紀州ぶんだら踊りに参加しました

総務課主任 浦 啓



平成24年8月4日（土）、当院は第44回紀州ぶんだら踊りに出場しました。平成13年初参加以降今回が12回目の参加となります。

当日は、17時に病院へ集合、腹ごしらえと景気付けに喉を潤し、19時15分からの本番に臨みました。

今年はインドネシア人EPAの看護師候補者2名も、職員からプレゼントされた浴衣を身にまとい、行列に入りました。また浴衣も写真のとおり、非常に良く似合い、本人達もとても気に入っている様子で、日本文化に触れる良い機会だったのではと思います。



また「患者さんも職員も元気が出る病院」という当院の現在の理念に横断幕を新調し、新たな気持ちで臨みました。

決して明るくない話題が多い昨今、和歌山城が白くライトアップされ、夜空に幻想的に浮き立つすぐ下でこの歴史有る紀州ぶんだら節が踊れることの喜びを改めて噛み

締めております。

来年以降も皆で参加してゆきたいです。



済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成24年10月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金
内 科	消化器内科	山原 邦浩	—	山原 邦浩	合田 杏佑	川口 雅功
		文野 真樹		川口 雅功		文野 真樹
	糖尿病代謝内科				巽 邦浩	
	循環器内科	巽 邦浩	江川 公浩	荒古 道子	江川 公浩	荒古 道子
		片岩 秀朗	大鹿 裕之	片岩 秀朗	辻岡 洋人	大鹿 裕之
		辻岡 洋人				
脳神経外科	山家 弘雄	仲 寛	山家 弘雄	仲 寛	林 靖二	
	三木潤一郎	—	林 宣秀	三木潤一郎	—	
外科リンパ浮腫特別外来		—	高垣 有作	山本 暢子	—	
外 科	重里 政信	川嶋 秀治	重里 政信		中村 恭子	
		—	ストーマ外来	—	—	
心臓血管外科		久岡 崇宏	—	久岡 崇宏	岩橋 正尋	岩橋 正尋
整 形 外 科	岡田 基宏	岩橋 弘樹	新 患 診	松崎 交作	岡田 基宏	
	中谷 匡登	山崎 悟		山崎 悟	中谷 匡登	
	曾根勝 真弓	—		岩崎 弘樹	—	
リハビリテーション科		医大応援医師	中川 真理	中川 真理	中川 真里	中川 真理
耳 鼻 咽 喉 科		—	—	医大応援医師	—	—
腎 セ ン タ ー		—	—	—	岡本 昌典	—
眼 科		金 桂 洙	宮本 武	—	泉谷 愛	山中 修
皮 膚 科		上中 智香子	—	—	山本 有紀	—
泌 尿 器 科		—	小川 隆敏	—	—	曲 人保

【受付時間】 午前（全科）8時30分～11時00分（但し、予約患者は除く）

- *土曜日は休診です。
- *腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。
- *月曜日午後1時から予約制で禁煙外来を行っています。
- *眼科は水曜日休診となっております。
- *水曜日はストーマ外来を実施しています。
(予約制・初診の方は紹介状が必要です)

*当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は紹介状をお持ちの方にもお待ち頂くことがございますのでご了承ください。



診療案内

診 察 日：月～金曜日

受付時間：午前8時30分～午前11時（但し、予約患者はこの限りにあらず）

休 診 日：土・日・祝祭日（年末年始）

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187